

インマヌエル中目黒キリスト教会
聖日礼拝2007.7.1.

メッセージ
ローマ書連講36

『献身の生涯』

ローマ人への手紙12章1-8節
竿代照夫牧師

聖書朗読

新約聖書

ローマ人への手紙12章1～8節

1 1 そうというわけですから、兄弟たち。
私は、神のあわれみのゆえに、あなた
がたにお願いします。あなたがた
のからだを、神に受け入れられる、
聖い、生きた供え物としてささげな
さい。それこそ、あなたがたの霊的
な礼拝です。

2 この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。

3 私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。

4 一つのからだには多くの器官があって、すべての器官が同じ働きはしないのと同じように、

5 大ぜいいる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、ひとりひとり互いに器官なのです。

6 私たちは、与えられた恵みに従って、異なった賜物を持っているので、もしそれが預言であれば、その信仰に応じて預言しなさい。

7 奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教えなさい。

8 勧めをする人であれば勧め、分け
与える人は惜しまずに分け与え、指
導する人は熱心に指導し、慈善を行
なう人は喜んでそれをしなさい。

ローマ書連講36

メッセージ

『献身の生涯』

ローマ人への手紙12章1～8節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「そういうわけですから、兄弟たち。私は、神の憐れみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物として献げなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。」

(ローマ12：1)

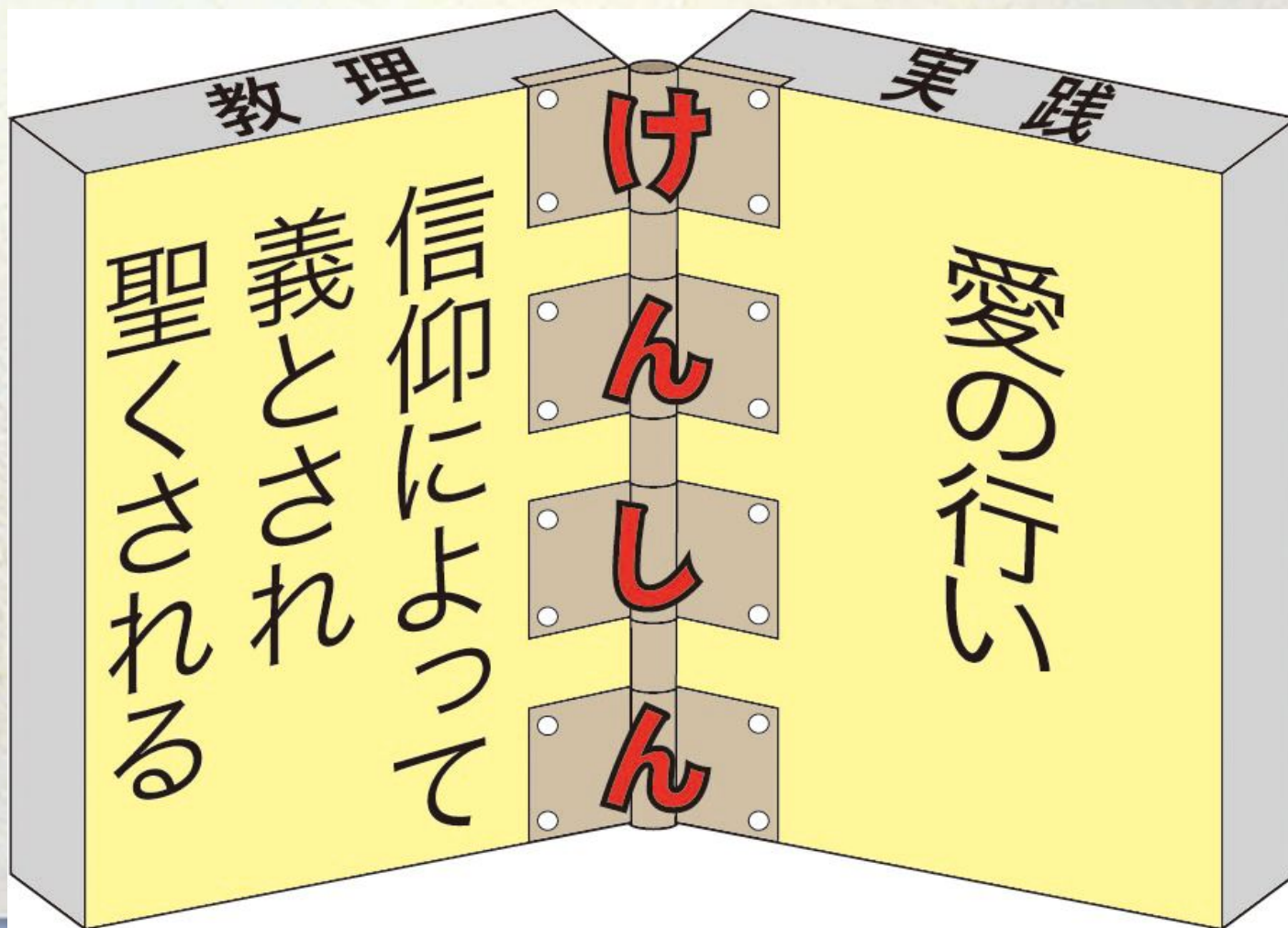
ローマ書の梗概（復習）

- 挨拶 1：1－15
- 神の義の啓示 1：16－17
- すべての人は罪人 1：18－3：20
- 人は、贖いを通して、信仰だけで
義とされる 3：21－5：21
- 神は信仰者の内に働いて、人を聖とする
6：1－8：39
- イスラエルの扱いで示される神の義
9：1－11：36

- 義とされた人は実生活において
神を証する 12：1－15：13
- 愛の生活の基礎 12：1－2
- 互いの愛 12：3－21
- クリスチャンの市民生活 13：1－14
- 弱いものへの配慮 14：1－15：13
- 終わりの言葉 15：14－16：27

* 12：1－2の「献身」は、
教理的部分と実践的部分を繋ぐ「蝶番」

*12:1-2の「献身」は、
教理的部分と実践的部分を繋ぐ「蝶番」



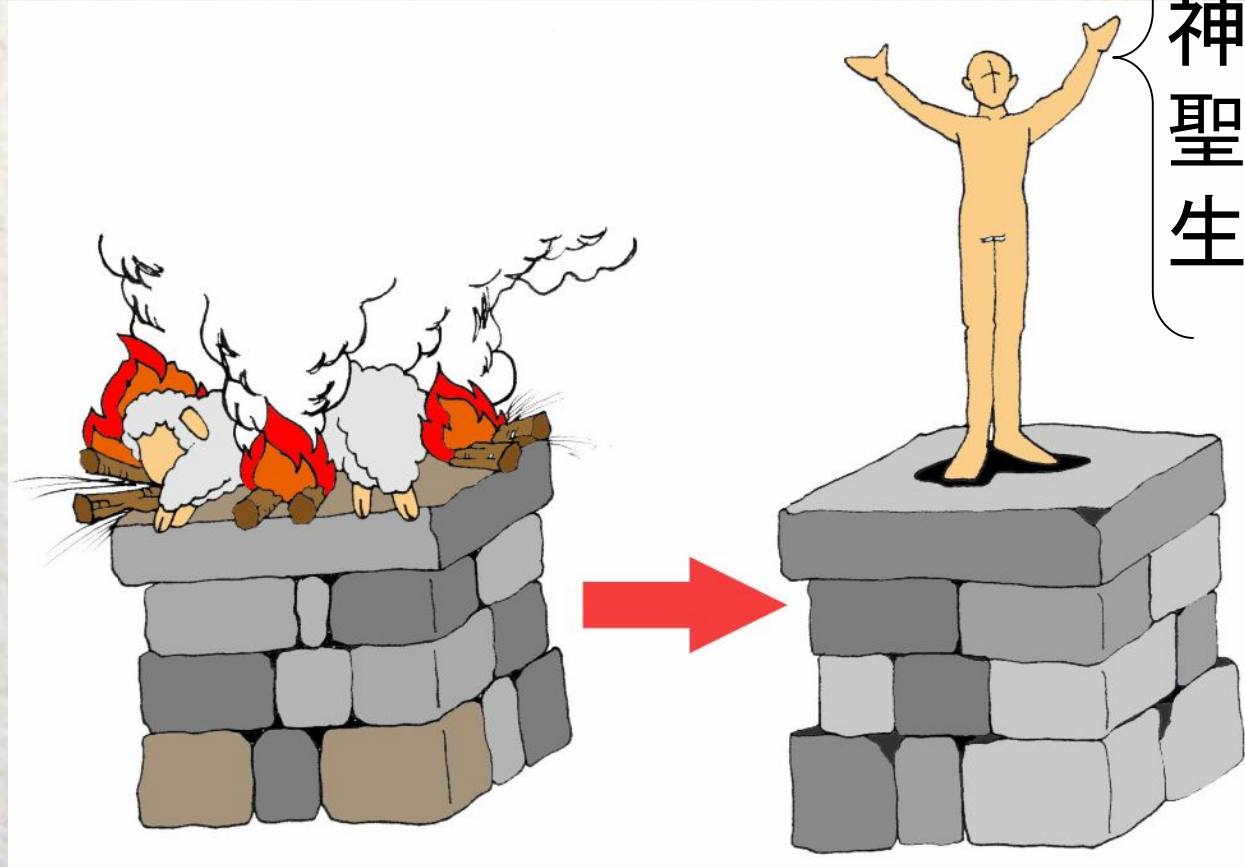
A. 献げよ（1節）

1. 勧告の基礎

- 完成された贖い：「そういうわけで」
（エペソ4：1、コロサイ3：5参照）
- クリスマンに対して：「兄弟達」
- 神の憐れみに押し出されて：
「神の憐れみのゆえに・・・」
- 勧告として：
「あなたがたにお願いします。」

2. 勧告の内容

- 献げること：自分が神のものであることをお認めし、差し出すこと
- 体を献げること：全人格的な活動
(1コリント6:20、10:31)



旧約の供え物

新約の供え物

体を
神に喜ばれる
聖い
生きた

供え物としなさい

- 神に喜ばれる供え物として：
心を傾ける愛をもって
- 聖い供え物として：
主の血により「傷なき」ものとして
(エペソ5:26、27)
- 生きた供え物として：祭壇の上の生活

3. 勧告の目的：

真の礼拝を経験するため

献身こそ、「理にかなった」礼拝

B. 更新されよ (2節)

1. 世と同化するな

(do not conform to)

- 2節は継続動作：vs 1節の「献げよ」
は一回で完全な行為

- 「この世と・・・」：
世＝神に逆らう人々の思想・潮流
(1コリント1：20、2：6)
- 「心の同化に注意」：
世の価値観に染まらないように

2. 変えられ続けよ

(continue to be transformed)

- ・ 変貌：蝶の羽化、
変貌山のイエス（マルコ9:2）
私達の栄化（2コリント3:18）
- ・ 受身の姿勢：「変えられなさい」
- ・ 継続的行為：
 - ① 日々のデボーション
 - ② 柔らかい心
- ・ 心の一新によって：
聖霊による恒常的な更新

3. 御心を弁える

- ・ 御心に生きる生き方

- ・ 御心の三要素：

- ①善

- ②喜ばしい

- ③完全

終わりに

1. 献身をはっきりと告白しよう
＜転機的聖化＞

2. 献身の立場を日々確認し、
継続し、深めよう
＜漸進的聖化＞